

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	診療画像検査学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次	学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 701教室
担 当 教 員	安藤 英次	実務経験と その関連資格	奈良県立医科大学附属病院にて、一般撮影・造影撮影などに従事。		
《授業科目における学習内容》					
診療現場から求められる臨床画像を理解したX線撮影技術の基礎知識を理解する。診療放射線技師がX線撮影の撮影目的を説明できる。X線撮影における診療放射線技師が理解したX線解剖学やX線画像形成論と撮影整位などを学習する。					
《成績評価の方法と基準》					
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
X線撮影技術学 小田 紘弘, 土井 司, 安藤 英次編者 オーム社 図解 上肢撮影法 安藤英次著 オーム社 図解 下肢撮影法 安藤英次著 オーム社 画像解剖トレーニングノート 安藤英次著 オーム社					
《授業外における学習方法》					
シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。					
《履修に当たっての留意点》					
指定した教科書を事前に読んでおくこと					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線撮影における撮影技術の歴史から臨床画像の有用性を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	①診療放射線技師のX線撮影役割		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線撮影における撮影体位の設定、撮影基準線と体表解剖を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	X線撮影における撮影体位の設定、撮影基準線と体表解剖①		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	頭部X線撮影①		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	胸部X線撮影①		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	胸部X線撮影②		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	胸部ポータブル撮影③		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	腹部X線撮影①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	腹部X線撮影②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	腹部X線撮影③		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊椎のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	頸椎撮影、胸椎撮影		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊椎のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	腰椎撮影、全脊柱撮影		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤・股関節X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	骨盤と股関節撮影①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤・股関節X線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	骨盤と股関節撮影②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
		各コマにおける授業予定	肩関節、肘関節撮影①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示すので調べる
		各コマにおける授業予定	手関節、手指撮影②		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	診療画像検査学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対象学年	1年次	学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 701教室
担当教員	安藤 英次	実務経験とその関連資格	奈良県立医科大学附属病院にて、一般撮影・造影撮影などに従事。		

《授業科目における学習内容》

診療現場から求められる臨床画像を理解したX線撮影技術の基礎知識を理解する。診療放射線技師がX線撮影の撮影目的を説明できる。X線撮影における診療放射線技師が理解したX線解剖学やX線画像形成論と撮影整位などを学習する。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(70%)
出席点(20%)
平常点(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

X線撮影技術学 小田 紘弘, 土井 司, 安藤 英次編者 オーム社
 図解 上肢撮影法 安藤英次著 オーム社
 図解 下肢撮影法 安藤英次著 オーム社
 画像解剖トレーニングノート 安藤英次著 オーム社

《授業外における学習方法》

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。

《履修に当たっての留意点》

指定した教科書を事前に読んでおくこと

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標 下肢のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
	各コマにおける授業予定	膝関節、足関節撮影①		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標 下肢のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
	各コマにおける授業予定	趾、下肢長尺撮影②		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標 歯科領域のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
	各コマにおける授業予定	歯科撮影①		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標 救急領域のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
	各コマにおける授業予定	救急領域のX線撮影①		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標 乳房のX線撮影を理解する。	指定教科書	授業の復習および授業の最後にキーワードを示し小テストを行う。
	各コマにおける授業予定	乳房X線撮影①		

